



平成28年4月4日（土曜日）椿まつり
オープニングセレモニーにてあいさつ
する栗市長

ごあいさつ

平成28年4月4日

連日、桜の開花だよりが聞こえてくるようになりました。見ているだけで自然と顔がほころび、春のおとずれを感じます。野々市市内での桜のおすすめスポットはどこでしょうかと聞かれ、高橋川沿いがいいですね、とお答えしたものの市内のあらゆるところで、このときとばかりにそれぞれの場所で風景になじんで咲く桜も、また愛おしく思えます。

新年度を迎え、市役所の組織も少し変わりました。生涯にわたってどの世代の方にも元気に活躍できるようスポーツや文化の面の充実を図るため、スポーツ振興室の設置や、来年11月開業を目指す中央地区の文化交流拠点施設、また、新たな土地区画事業と、新年度予算は過去最高の178億5千万円となりました。市民の皆さんの活躍の場所、基盤づくりということをいつも申し上げております。コンパクトなまちなので町内会行事にお声がかかり、出席させていただくことでその場でご意見をいただくことがあります。直に皆さんの思いを聴かせていただくことができていることで野々市市の「市民協働のまちづくり」が進む強みであると思えます。さまざまな手段を使い、これからも多くの市民の皆さんの動きや声を身近に感じられることを反映させながら、行政の充実を図りたいと思っております。

春は出会いもあれば別れのときでもあります。4月1日で田中宣副市長が退任されました。副町長、副市長任期の8年間を含め、町職員から53年間の永きにわたり、野々市のためにご尽力いただきました。人間的にも深みがあり、感謝の念に堪えません。新しく常田功二副市長が就任されました。石川県土木部長であられたことから、土木行政に精通され浅野川氾濫時に復旧復興に陣頭指揮にたたれた経験や、その温厚な人柄からいろいろな面でのサポートを期待しております。そして今年度は21名の新規職員を各課、保育園に配属いたしました。公務員の仕事でいちばん大切なことは、職員自身が市民の皆さんから信頼をいただくことだと思っております。その第一歩として、いい笑顔で接することができることです。一日も早く、自然な笑顔「野々市スマイル」で市民の皆さんに接することができるようになってほしいと願っております。